

はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます
常に新しく良質な医療ができるように心がけます
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟の作業療法士の役割

回復期リハビリテーション病棟とは、簡潔に言うと「在宅復帰する」ための病棟です。集中的リハビリテーションを行い、障害のできる限りの改善と日常生活動作の自立を図るという役割を持った病棟です。

作業療法士は、生活に障害がある方を支援するリハビリテーションを提供する専門職です。回復期リハビリテーション病棟での作業療法士は、日々の生活で行われる様々な作業活動を用いて、その人の健康的な部分に働きかけ、心とからだの回復を助け、自分らしい生活を再建していくための支援を行います。

「作業」には、人が生活に必要なあらゆる活動である仕事・日常生活・趣味活動などが含まれます。作業療法では、人がより良く生きるために、こうしたすべての「作業」が支援の手段になります。

具体的には、筋力・関節可動域訓練など身体機能向上を目的としたリハビリに加えて、食事・更衣などの日常生活動作訓練、園芸・パソコンなどの趣味活動などの治療プログラムを患者様に合わせて提供しております。



関節可動域訓練



日常生活動作訓練（食事）



趣味活動（園芸）

認知症治療病棟

シリーズ 認知症

第3回

～ レビー小体型認知症 ～



1) レビー小体型認知症とは

レビー小体とは脳内にできる特殊タンパク質です。レビー小体が脳皮質や脳幹と言われる場所にたくさん集まることで、脳内の神経細胞が壊れて減少する為、情報を上手く伝えられなくなり、認知症の症状が起こります。

2) レビー小体型認知症の特徴的な3徴

- ① 認知機能の変動 ② 繰り返し出現する幻視 ③ パーキンソン症状

3) レビー小体型の方への対応の仕方

- ① 状態を考えて、できない時はできない（時には介助が必要）と理解して関わりましょう。
 ② 幻視に対しては嘘ではなく、本人には見えている為、否定しないようにしましょう。
 ③ 動作がゆっくりでも急かさないようにしましょう。

4) 薬物療法以外の改善策

- ① 適度に体を動かす ② 居室環境や介助を行い転倒に注意する
 ③ 訴えをよく聞いて不安をとり除く

その他にも対応、改善策は患者様の状態により様々なものがあります。
 不安や疑問に思うことがありましたら、職員までお気軽にお尋ねください。



外来

骨粗しょう症とは

長年の生活習慣などにより骨がスカスカになって骨折しやすくなる病気です。自覚症状がなく、腰や背中に痛みが生じて診察を受けて見つかることが多く、ひどくなると骨折を起こし、寝たきりの原因となる場合もあります。

骨粗しょう症は、カルシウムの摂取不足、閉経期以降の女性、高年齢の男性に多くみられますが、若い人でも栄養不足や運動不足、ステロイド剤服用などの影響でなることもあります。喫煙習慣のある人やお酒を多く飲む人にも骨粗しょう症になりやすいので、長年の生活習慣が原因となることから生活習慣病の1つと考えられています。

骨粗しょう症の予防には、

- ① 日光浴：日光にあると体内にビタミンDが作られ、カルシウムの吸収を助けてくれます。
- ② 運動：骨は体を動かし刺激することで、カルシウムの沈着が良くなります。
- ③ 食事：カルシウムは体内に吸収されにくいので、カルシウムを多く含む食品と吸収を助ける食品と一緒にバランス良く摂ることで。



【カルシウムが多い食品】 牛乳、豆腐、納豆、チーズ、のり、ひじき、ヨーグルト、ししゃも、切り干し大根

橋本病院では、今年3月から経験豊富な整形外科医が就任しています。先生の要望で、「超音波骨量測定装置」を新たに導入し、5月から、骨量を測定して“骨粗しょう症”の治療ができるようになりました。

超音波骨量測定装置検査は、左足のかかとの骨に超音波をあてて測定するもので、検査は5分程ですぐに結果が分かります。骨粗しょう症は予防が大切となりますので、どなたでも当院整形外科にてお気軽にご相談ください。



栄養部



イベント食をご紹介します！



「5月の誕生日」



赤飯
天ぷら 炊合せ
小松菜胡桃和え
五月汁

「6月のお寿司の日」



黒米入り散らし寿司
かますの塩焼
煮合せ 赤出汁
夏みかん

「七夕」



炊込みご飯
鱈の塩麴焼 煮物
2色そうめん汁
フルーツポンチ

病棟バイキング



通所リハ おやつバイキング



毎月季節のイベントメニュー等を提供しています

次回をお楽しみに！！

こころの健康展

第39回こころの健康展が、イオンモール高松で6月15日16日の2日間開催されました。



「ストレス社会の今、あなたは心の健康に自信がありますか？ 心の病を正しく理解することからはじめましょう。」

会場には、精神障害者の方が作成した手芸品・陶芸・絵画などの作品展示やアクセサリーやお菓子、陶芸作品の販売コーナーや心の健康についての紹介パネル展示などもありました。心の健康に関するクイズラリーやストレスチェックなどの催しもありました。

毎年6月に開催していますので、興味のある方は一度足を延ばしてみてください。



当院でも、認知症治療病棟の患者様が作成した作品を毎年出品しています。

糖尿病教室

6月9日（土）、7月7日（土）に当院にて糖尿病教室を開催しました。

糖尿病治療では、食事・お薬・運動が重要な役割であり、また日常生活での継続が重要となってきます。さらに糖尿病が進行することで、目や腎臓、心臓、脳などの全身の血管に障害が起こり、さまざまな症状や病気を発症します。



現在透析導入患者様の原因疾患1位である糖尿病性腎症を知って頂くために、今回開催のテーマ「糖尿病性腎症について」を中心に、医師・薬剤師・栄養士からお話しさせていただきました。

血糖のコントロール・血圧のコントロール・塩分摂取量が、糖尿病性腎症の進行を遅らせる重要なポイントとなってきます。お薬による血糖のコントロール作用を理解してもらい、塩分を控えるために、食品の中にどれだけの塩分が入っているかを比べてみることで、また調理方法や調味料の選び方などを聞くことで、これからの糖尿病治療や日常生活に上手に取り入れ続けていくことが目標になるように協力していきたいと思えます。



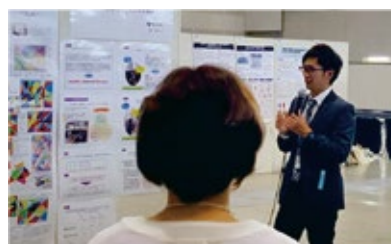
認知症ケア学会

第19回日本認知症ケア学会大会

会期：2018年6月16日（土）～17日（日）

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

「当院認知症治療病棟における集団参加とその効果検証」
喜井隆太郎／OT



～ 学会に参加して ～

当学会での発表は2年連続2回目となります。活発な意見交換ができ、今後の臨床に生かせるようなアドバイスを頂くことができました。

また、認知症ケアのアセスメント方法やチームアプローチについてもヒントを得ることができ、とても充実した学会でした。



医療安全管理体制委員会



医療安全対策への取り組み

橋本病院では、地域の皆様に信頼され、安心して医療を受けて頂けるよう、医療安全を推進するための取り組みを行っています。

医療安全管理体制

- ☆ 医師、看護師、コメディカルから成る医療安全管理体制委員会を設置しており、院内で発生した医療事故・インシデント（業務で「ハット」「ヒヤリ」した事例）等が報告され、その分析を基にした改善策が実施される体制となっています。
- ☆ 専任の看護師を医療安全管理者として配置しています。
- ☆ 医療事故防止マニュアルを各部署に配布し、内容を共有しています。
- ☆ 全職員を対象とした、医療安全に関する研修を年2回実施しています。

取り組み（活動内容）

- ☆ インシデントの収集・分析・対策立案、年・月単位での分析結果報告、事例分析、対策立案
- ☆ 安全に関する各種マニュアルの作成と更新
- ☆ 安全ラウンド（院内巡視）
- ☆ 医療安全管理に関する相談窓口

今年度は、転倒・転落による骨折事故をなくそう！と、強化年として転倒・転落防止対策を重視しております。事故防止には皆様のご協力が必要です。ご不明な点がございましたら、遠慮なく職員にお申し出ください。



橋本病院指定居宅介護支援事業所

居宅介護支援事業所とは

居宅介護支援事業所とは、介護支援専門員（ケアマネジャー）が、介護サービスを受けるために必要な「要介護認定」の申請代行や、居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成を依頼する際の窓口です。



主な業務内容

- ＊ 介護者やご家族等の介護に関する相談援助
- ＊ 要介護認定申請のお手伝いと代行
- ＊ サービス計画に基づいたサービス実施状況の把握と評価
- ＊ 介護用品、住宅改修等の相談援助
- ＊ 介護保険サービス提供事業所との連携・調整
- ＊ 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- ＊ 介護保険等に関する質問や苦情の受付、取次ぎ

サービス利用までの流れ



相談	ご利用者やご家族の困りごとをご相談ください。
自宅訪問	ご利用者のご自宅を訪問して、心身の状態や生活環境等を確認させていただきます。
状況把握	可能な限りご自宅で自立した生活を送れるように、抱えている問題点や解決すべき課題の分析をします。
ケアプラン作成	ご利用者やご家族が望む生活の実現に向けたサービス計画書（ケアプラン）を作成します。
担当者会議	ご利用者およびご家族やサービス事業所と共に、サービス内容の確認や意見交換等を行います。
サービス開始	開始後も利用状況の把握や身体状況等の確認をさせて頂きながら必要に応じて計画書の見直しを行います。

～ 介護保険サービスを利用されたい方は、居宅介護支援事業所へぜひご相談ください ～

家族会

人は従来より“生きがい”や“やりがい”を求めて生活していました。リハビリをして今後も楽しく、生きがいを持って生活をしたい！そんな要望を叶えるために、回復期リハビリテーション病棟の理学療法士がアドバイスさせて頂きました。

『生きがい、楽しみを考える*第二の人生』

のテーマで理学療法士による第1回家族会を行いました。

人には平等に「生きがい」を持つ権利があります。しかし突然の病気によりその生きがいを見失ってしまうことは少なくありません。

今回は患者様、ご家族様と一緒に、病気になってしまった後の「生きがい」について例を提示しながら、職員を交えて話し合いました。生きがいを実現する為には、ご家族様の協力だけではなく、社会サービス、福祉用具の利用など様々な手段・方法があります。

今回参加されていない方も、よりよい生きがいの獲得について興味のある方は、気軽に職員までお声掛けください。



日時：平成30年6月23日(土)
14:00~15:00
場所：橋本病院 2階 会議室

ふれあい看護体験



2018年『ふれあい看護体験』を開催しました。

橋本病院『ふれあい看護体験』を今年度は、6月16日土曜日に開催しました。

観音寺市、三豊市内の中学生・高校生12名の参加がありました。

看護の仕事についての講義のあと、血圧測定や車椅子体験、患者様との触れ合いなどを体験して頂きました。

参加した学生からは、「たくさんの事が学べ、貴重な経験ができた。」

「今回の体験を経て看護師になろうと思います。」「自分の将来像をリアルに感じて、今後さらに気合いを入れて頑張れそうです。」等の感想文が寄せられました。



将来の目標の選択肢の1つとして、この『ふれあい看護体験』がお役に立てるよう、今後もこの時期に継続して開催を考えております。是非、ご参加ください。お待ちしております。



地域連携室

平成30年5月～6月に行いました**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ直接訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の実績（回復期リハ病棟）を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：5月【34件】、6月【25件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：5月【8.0日】、6月【5.0日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：5月【14.9日】、6月【9.8日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は6.1日（1～34日）です。**大変お待たせして申し訳ございません。**

対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態から2ヶ月以内。高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸随損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症から2ヶ月以内。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後から2ヶ月以内。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後から2ヶ月以内。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後の1ヶ月以内。
5. 股関節又は膝関節の置換術後の状態の1ヶ月以内。



リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

入院相談はお気軽にご連絡ください

橋本病院 地域連携部

窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）

0875-63-3311（代表）



認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出ください。

ソーシャルワーカー部

リハビリテーションにおける医療と介護の連携について

医療保険と介護保険の診療報酬および介護報酬は数年に一度、定期的な見直しが行なわれています。平成30年度は医療保険と介護保険が6年ぶりの同時改定となり、医療・介護業界の中では大きな注目事項となっていました。ポイントの一つとしては、以前より推進をしている「地域包括ケアシステム」への構築に向け「医療と介護の連携推進」が強化された事です。地域の中で、リハビリテーション病院の役割を担っている当院が、新たにどのような関わりを持つようになったかを少しご紹介させていただきます。



リハビリテーションは、入院中に目標をたて実施していますが、その目標を達成していく為の計画が退院後も継続できるように、退院後のリハビリテーションを実施する事業所（通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション）に情報を提供していく事が評価される事になりました。計画の関連性を持たせるために、医療・介護で共通の様式を利用するようになりました。



医療保険と介護保険の双方で使用可能な計画書の共通様式を新設し、当該様式を用いて医療機関から介護保険のリハビリテーション事業所に情報提供した場合を評価（原文）



医療・介護の連携に関しては、制度の後押しだけではなく、医療機関と地域での生活をつないでいく医療ソーシャルワーカーとして、今後も積極的に関わっていきたくております！

健康教室

香川県理学療法士会健康増進部様からの依頼で健康教室を行いました。

日時：2018年5月15日(火)
10:00～11:00
場所：辻公民館(三豊市)



講義内容は簡易体操でした。
参加者は18名で、床に座ってできる体操を実施しました。

日時：2018年5月17日(木)
10:00～11:00
場所：河内農村婦人の家(三豊市)



講義内容は簡易体操でした。
参加者は22名で、椅子に座ってできる体操を実施しました。

日時：2018年5月30日(水)
9:30～10:30
場所：財田町国保高齢者保健福祉支援センター(三豊市)



講義内容は転倒についてでした。
参加者は32名で、転倒予防体操も実施しました。

体力測定

日時：2018年5月18日(金) 9:00～12:00
場所：山本町農村環境改善センター(三豊市)
参加人数：26名(男性17名、女性9名)
平均年齢：75.5歳

【測定内容】身長・体重、握力、大腿四頭筋筋力、TUG、片脚立ちテスト、10m歩行スピード、2ステップテスト、立ち上がりテスト



2年ぶり3回目の測定をさせて頂きました。測定後は、2016年のデータを用いた学会発表の内容と、2015年と2016年の測定結果の比較を見てもらいました。動作能力は維持されていますが、下肢筋力の低下がみられるので、運動習慣をつけるよう指導しました。参加された方々ありがとうございました。

職員募集のお知らせ

募集

精神保健福祉士
社会福祉士
看護師・准看護師
介護福祉士・介護職



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311 (人事担当：安藤)

医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902番地1
TEL：0875-63-3311
FAX：0875-63-2651
入院相談直通電話：0875-63-3552
E-mail：wafukai@gaea.ocn.ne.jp
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp
発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床
療 認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所
通所リハビリテーションセンターはしもと
メディコポリス観音寺デイサービスセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

